

大高インフォメーション

ホップ ステップ
JUMP!
| 特 | 集 | 号 |

社会に貢献

究める力で

ものごとを探り、

未来を拓く

究める力で

自ら探し、

新しい! 大村高校の学び 文理探究科

文理探究科での学び 3年間を通じて新しい時代に求められる探究力を育成

1年次

文理探究科

大学・研究所やフィールドワーク等学びの体験が充実! 知的好奇心を高め、進路選択に期待を膨らまそう!

2年次

理数探究(理系)

国際探究(文系)

理数探究や国際探究の専門性を生かし、融合させながら、思う存分探究活動に取り組もう!

3年次

各コンクールで研究成果を発信! 社会課題に関して大学や自治体等に提言! 探究的な学びを生かして進路実現!

NEWS!

新制服!!

OMURA High School

Summer Style

夏服は水色のポロシャツと選択可能

袖には反射材を採用

Formal Style

ヘリンボーン素材でちゃんと感アップ!

約半世紀ぶりに、大村高校の制服が一新されます。秋の五教祭(文化祭に相当)では、在校生による新制服のファッションショーが行われました。男女ともスラックスやスカートなど4つのタイプから選べる新制服になっています。高級感のあるヘリンボーン素材の生地を採用し、ウォッシュアップなのに耐久性も兼ね備え、袖には反射材を採用するなど機能性にも優れたおしゃれな制服です。新制服に身を包み、新しい大村高校の伝統を築いて欲しいと願っています。

	1年次	2年次	3年次
科目	現代の国語 言語文化 地理総合 歴史総合 体育 保健 音楽Ⅰ 美術Ⅰ 家庭基礎 総合英語Ⅰ ディベート・ディスカッションⅠ 理数数学Ⅰ 理数数学Ⅱ 理数物理 理数生物 サイエンス基礎 OMURA STEAM LABO 探究プラットフォームⅠ	論理国語 古典探究 公共 情報Ⅰ 体育 保健 総合英語Ⅱ ディベート・ディスカッションⅡ 論理国語 古典探究 日本史探究 世界史探究 地理探究 公共 情報Ⅰ 体育 保健 総合英語Ⅱ ディベート・ディスカッションⅡ 数学Ⅱ 数学B 数学C 生物基礎 化学基礎 探究プラットフォームⅢA	論理国語 古典探究 政治経済 情報Ⅰ 体育 総合英語Ⅲ ディベート・ディスカッションⅡ 論理国語 古典探究 日本史探究 世界史探究 地理探究 政治・経済 情報Ⅰ 体育 総合英語Ⅲ ディベート・ディスカッションⅡ 数学Ⅱ 数学B 数学C 生物基礎 化学基礎 探究プラットフォームⅢA
	理数探究	理数探究	理数探究
	国際探究	国際探究	国際探究
	POINT! 1年次から専門科目を学びます。		

…専門科目(大学での学びを見据えた発展的な科目) …選択科目 赤字…探究型学習科目

文理探究科独自の授業

真の『英語力』を育む



大学では、文系・理系を問わず英語の力が求められるため、文理探究科では英語力の育成をサポートしていきます。

英語の授業では、1人1台端末で海外のネイティブスピーカーとオンラインでつながることができる英会話教材を使用します。グローバル社会で求められる英語コミュニケーション能力の基礎を身につけ、実践的な英会話力や英語を用いた協働学習の展開を目指します。

長崎県教育委員会「グローバル人材育成事業“つながる・広がる”英語教育支援事業」指定校

1年次では、長崎県立大学の先生や県内のALTから実践的な指導を受ける、とても有意義な講座があります。それを発展させ、2・3年次では研究成果を英語で発表したり、研究概要を英語でまとめたりすることが可能になります。

授業

探究活動



参考 普通科教育課程 (予定)

	1年次	2年次	3年次
科目	現代の国語 言語文化 地理総合 歴史総合 情報Ⅰ 体育 保健 音楽Ⅰ 美術Ⅰ 家庭基礎 英語コミュニケーションⅠ 論理・表現Ⅰ 数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学A 化学基礎 地学基礎 探究プラットフォームⅠ	論理国語 古典探究 日本史探究 世界史探究 地理探究 公共 体育 保健 数学Ⅱ、数学Ⅲ 数学B、数学C 化学基礎、化学 物理基礎、物理 生物基礎、生物 英語コミュニケーションⅡ 論理・表現Ⅱ 探究プラットフォームⅢB 論理国語 古典探究 日本史探究 世界史探究 地理探究 公共 体育 保健 英語コミュニケーションⅡ 論理・表現Ⅱ 数学Ⅱ 数学B 数学C 生物基礎 化学基礎 探究プラットフォームⅢB	論理国語 古典探究 日本史探究 世界史探究 地理探究 情報Ⅰ 体育 英語コミュニケーションⅢ 論理・表現Ⅲ 数学Ⅲ 数学B 数学C 化学 物理 生物 探究プラットフォームⅢB 論理国語 古典探究 日本史探究 世界史探究 地理探究 政治・経済 情報Ⅰ 体育 英語コミュニケーションⅢ 論理・表現Ⅲ 数学Ⅱ 数学B 数学C 生物基礎 化学基礎 探究プラットフォームⅢB
	理系	理系	理系
	文系	文系	文系

…選択科目 赤字…探究型学習科目



大村高校・文理探究科の

探究活動をのぞいてみよう!



START!

1

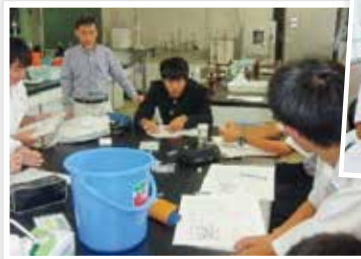
テーマ設定に向けて 現地調査



1年次で研究の基礎を学び、2年次から本格的に課題研究に取り組みます。大村高校の課題研究は、テーマは自分で考えて決めます。どんなテーマにするか身の回りに潜む疑問を探します。

2

専門家からの 指導助言



大村高校では、年間を通じて多様な研修や講座を準備しています。大学や研究機関など、様々な分野の専門家の方から探究活動について指導助言をいただける機会があります。

3

テーマ設定・調査計画

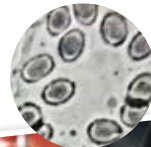


テーマ例)
「大村高校周辺における希少な
沿岸性ウミアメンボ類の生息状況」
「マスクによる肌への影響
～マスクによる肌荒れを防ぐために～」

課題探究は、テーマ設定が重要です。そのテーマで、探究をどのように進めて行くか計画を立てます。先輩の中には高校生らしい身近な疑問をテーマにしている人も多いです!

4

仮説検証 調査!実験!



課題探究は、客観性をもたせるために調査・実験を行うことがほとんどです。結果を調べることで、予想外の結果が出たり、新たな疑問が出たりするので、探究が深まります。

5

中間発表会/ 英語プレゼン研修



他の人からの質問やアドバイスをもらうことで探究活動を進めるヒントが得られます。更に文理探究科では、海外研修で英語による探究活動に関する発表を予定しています。

GOAL

6

課題研究発表会、 コンテスト等への参加



先輩も堂々と発表する姿を見せてくれます。コンテストにも積極的に参加しましょう!先輩の中には全国1位になった人もいますよ!

第3回 グローバルサイエンティストアワード“夢の翼”
文部科学大臣賞・最優秀賞



文理探究科

Q & A

あなたのギモンに

お答えします！



Q1

文理探究科に入学してから卒業するまでの流れはどの様になっていますか。

文理探究科では、高校入試の際に80人を募集し、1年次には全員が同じ教科・科目を学習します。2年次に進級するとき、興味・関心、進路希望などに応じて理数探究と国際探究のうち、どちらかを選んで学習することになります。選択については、みなさんが安心して選択できるよう、教員がきめ細かくサポートします。



Q2

2年次から理数探究と国際探究に分かれた際、人数やクラス編制はどのようになるのでしょうか？

どちらも40名程度ずつになる場合もありますが、希望や適性によっては、同じ人数にはならないことが予想されます。人数に不均衡が生じる場合には、文理探究科全体で2クラスを編制し、クラス内に理数探究と国際探究の生徒が混在するクラスとすることを想定しています。



Q3

「理数探究」を選ぶか「国際探究」を選ぶかは入学の時に決めておくべきですか。

自分の興味関心・適性、進路希望を見極めながら1年次の後半までにどちらかを選択すればOKです。



Q4

文理探究科では、探究型の学習が重視されることで、大学入試に不利になりませんか？

大学入試は「何を学んだか」だけでなく、志望理由書や面接試験など様々な方法で「どのように学んだか」「どのように学ぼうとしているか」について評価するものになってきています。文理探究科での学習は、この新しい大学入試に対応した、「総合的で高い学力」を伸ばすものです。したがって、大学入試に不利になることはありません。進路希望を実現するために行ってきたこれまでの大村高校の授業をしっかりと行った上で、更に充実した探究型の学習を行います。また、専門教科「理数」「英語」では、よりレベルの高い学力を養成します。教科学習で培った知識を探究活動に活用することで、これからの大学入試に必要な力を伸ばすことができます。



Q5

文理探究科に入学しても部活動を行うことは可能でしょうか。

文理探究科に入学しても、普通科や家政科の仲間と一緒に部活動を行うことはもちろん出来ます。本校では両道不岐の校是のもと、バランスのとれた総合的な人間力を養ううえで、部活動の取組も重視しています。部活動を含めた調和のとれた学びによって、これからの時代に求められる「総合的で高い学力」を育むことが出来ると考えています。現在の数理探究科の生徒も運動部や文化部で活動している生徒はたくさんいますし、理科部の活動とともに他の部活動と兼ねながら頑張っている人もいます。



長崎県立大村高等学校

OMURA High School

<https://www.news.ed.jp/omura-h/>

〒856-0835 長崎県大村市久原1-591 TEL.0957-52-2660 FAX.0957-52-6115



文理探究科のページはこちらから ▶▶▶

<https://www.news.ed.jp/omura-h/bunritankyuka/bunritankyuka.html>

